

巻 頭 言



代表取締役 兼 社長執行役員 兼 CEO
馬立 稔和

(株)ニコンは1917年に設立され、今年で103年目を迎えました。この間、コア技術である「光利用技術」と「精密技術」をベースに、世界中の人々の感動を捉えるカメラや、産業の基盤となる半導体・フラットパネルディスプレイ用の露光装置、顕微鏡などを提供し、お客様の期待や社会のニーズに応え、企業理念「信頼と創造」を形にしてきました。

そして2019年5月に、持続的な企業価値向上に向けた中期経営計画を発表しました。既存事業領域だけでなく設定した長期成長領域に対しても、今まで培ってきた精密技術・光学技術を集大成しながら、社内外の新たな技術も取り入れて、計画を実行していきます。特に、定めた3つの長期成長領域を新たな成長エンジンとすることに力を注ぎますが、技術革新を進めつつ、お客様から「価値がある」と認められるものを世に出すこと、事業を通してサステナビリティに寄与することを進めてまいります。このたび、その一端をお伝えする一つとして、Nikon Research Reportの発行を行うことにいたしました。



研究開発本部長
木戸 一博

企業価値向上に向けた中期経営計画を確実に先へ進める為には、今回定義した成長領域を中心に研究・開発した成果を、より速いスピードで事業に結びつけることが重要です。ニコンの各研究職場および各開発職場は、皆様のご期待に応えるべく、日々、全力で研究開発活動に取り組んでいます。また、製品に直接かかわる開発のみならず、光を中心とした広い分野において、基礎研究にも積極的に取り組んでいます。今般、これらの研究・開発成果を、広く皆様にお伝えすることを目的に、Nikon Research Reportの発行を決めました。

第一号である本号は、2018年度に発売・発表した製品の技術解説と、2018年度に外部機関から評価を頂いた研究開発論文からレポートを作成しました。今後、ニコンは継続的に技術情報を発信し続けていきます。Nikon Research Reportによって、皆様にニコンをより深くご理解いただき、生み出した技術を更に役立てる契機になることを期待しています。